

第五地連 機関紙

Absolute5

アブソリュート5

東京清掃労働組合第五地連
事務局: 東京清掃労働組合葛飾支部
東京都葛飾区新宿3-17-5
TEL&FAX 03-3607-7981
Email seisu-katushika@juno.ocn.ne.jp

→ 情報共有と意思統一が重要だと確認した



**3月17日、2017年春闘討論集会を
ユートリヤにて開催しました。60名
の仲間が結集し、春闘情勢と各区の
29年度予算・人員闘争の報告を共有
し、次年度の闘いにむけた意思統一
をすることができました。**

地連組織の長所を活かして

連携強化で次の闘いに臨もう

第五地連17春闘討論集会



↑ 墨田支部 斉藤書記長



↑ 江戸川工場支部 山下委員長



↑ 江戸川支部 木川副委員長



↑ 葛飾支部 岩井委員長



↑ 足立支部 石田賃金部副部長



↑ 江東支部 梶谷組織部長

冒頭、山本議長より「各区の報告を自らの交
渉に活かすとともに、解
りやすい報告の仕方も学
んで欲しい」との挨拶を
受け、集会を開始しまし
た。中里副中央執行委員
長から情勢報告と「予算・
人員闘争は通年闘争、継
続した取り組みが重要」
と挨拶がされ、続いて各
区・一組における平成29
年度の作業計画・人員計
画交渉の経過や総括の報
告を受けました。

墨田支部の斉藤書記長
からは「能率アップなど
は受け入れざるを得なかつ
たが、不燃収集の再直営
化の検討と“あり方”に
おける直営の職務・体制
の協議を約束させること
ができた。また、新規事
業として不燃ごみの資源
化を始めることとした。
中長期的な視点で直営の
職務を確固たるものにし、
新規採用に繋げたい。」

江東支部の梶谷組織部
長からは「副区長との直
接交渉で3名の新規採用
を勝ち取ることができた。
次年度以降も組合員が安
心して働き続けられる職
場を目指していく。」

江東支部の石田賃金部
副部長からは「組合員が
明らかに目で見て身体で
感じて将来を安心して働
けるよう事業設計を執行
課に対し強く求めていく。」

江東支部の岩井委員長
からは「いざ不燃
の全量リサイクルを勝ち
取りたい。自分たちの処
遇を守ることが基本に交
渉を進めたい。」

江東支部の梶谷組織部長
からは「5名の新規採用と杉
並工場の完全直営化を勝
ち取った。明るい方向を
見て、明るい展望を持ち
ながら運動を進めて行こ
う。」とそれぞれ闘いの
成果と総括を簡潔に報告
していただきました。

各報告を受け、今後の
闘いにむけた意思統一の
ため、決議文を小菅常任
から提案し満場一致で採
択され、山本議長の力強
い団結頑張りうで集会が
成功裏に終了しました。

各区の独自性や徹底し
た現業不補充など様々な
背景の下、当局はプロッ
ク内で足並みを揃えるよ
うな状況ではなくなっ
てきました。私たちは逆
に地連組織の強化をしな
ければなりません。当局
の攻撃に統一性がなく
も、私たちは情報を共有

し、あらゆる攻撃に備え
ること、あるいはこちら
側から当局に投げかける
ことができません。各区・
一組の交渉状況や労働条
件を知り、それぞれの交
渉強化に繋げることがで
きるのが地連組織です。
春闘討論集会を皮切りに、
全区統一の新規採用要
請、予算要求と次年度の
協議が事実上のスター
トとなります。区長会に
対しても要求書を提出し、
17確定闘争に向けた取り
組みが始まりました。
第五地連10支部はこれ
まで以上に強固な結束で
対区交渉を乗り切り、労
働条件の向上と安心して
生活できる勤務条件を勝
ち取りましょう。

予告 第五地連 2016年度年次総会
4月25日 (火) カメラプラザ